

西東京市産業振興マスタープラン ー中期計画ー 評価結果一覧

分野	大項目	中項目 (施策)	施策の総合評価				施策を取り巻く状況			事業(実行プログラム)			事業(実行プログラム)の点検			
			達成度	重要度	今後の方向性		判断理由	社会情勢や市民・当事者からの 要望等の変化	施策を進める上で 残されている課題	事業名	再掲	事業主体	着手 状況	事業 評価	今後の展開	実施上の課題や今後改善すべき点
					内容	コスト										
1 農業	1 農業の保全と活用	(1) 多面的機能の 発揮	ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	農業者との交流機会や農業・農地の多面的機能を発揮することへの市民ニーズが高まっており、国や都の支援を活用していく。	・農地は減少傾向だが、農業体験イベントへの参加は増加傾向 ・生産緑地指定面積の見直しや特定生産緑地制度の創設 ・農産物の購入機会の拡充ニーズの高まり	・市民及び農業者のニーズ把握 ・新たな取組みによる事業企画 ・災害協力農地の理解促進による拡大	・花摘みの丘の活用	行政	○	A	継続実施	・事業の情報発信 ・市民ニーズの把握及び企画の見直し	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	事業は全て着手し、継続的に実施しており、参加者の満足度も高い。市の独自事業に加え、国や都の事業との連携により事業の多様化を図る。	・市民の農業、農地への関心の高まり ・消費者の購入方法が多様化している一方で、地産地消の促進が求められている	・若手及び女性農業者との意見交換 ・新たな取組みによる事業企画 ・国及び都の事業との連携拡大	・農のアトリエ「蔵の里」の活用	行政	○	A	継続実施	・市民ニーズの把握及び企画の見直し ・新たな取組みによる事業継続	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大 ・農業者及び商工業者への事業周知拡大	・災害協力農地の拡大	行政	×	C	改善・見直し	・災害協力農地の拡大検討 ・新規協定締結可能な農地の選定	
	2 農業を通じた交流	(1) 各種イベント、即売会の実施	ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	市民農園、農業体験農園ともに利用者のニーズ及び満足度は高い。運営側の負担を軽減するための適切な支援策を講じる。	・市民の農業、農地への関心の高まり ・消費者の購入方法が多様化している一方で、地産地消の促進が求められている	・若手及び女性農業者との意見交換 ・新たな取組みによる事業企画 ・国及び都の事業との連携拡大	・農業景観散策会の実施	行政	○	A	改善・見直し	・市民ニーズの把握及び企画の見直し ・新たな商工業者との連携検討	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大 ・農業者及び商工業者への事業周知拡大	・市内産農産物活用事業の実施	行政	○	A	改善・見直し	・消費拡大につなげる取組み検討 ・市民ニーズの把握及び企画の見直し	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	市民農園、農業体験農園ともに利用者のニーズ及び満足度は高い。運営側の負担を軽減するための適切な支援策を講じる。	・市民の農業、農地への関心の高まり ・消費者の購入方法が多様化している一方で、地産地消の促進が求められている	・若手及び女性農業者との意見交換 ・新たな取組みによる事業企画 ・国及び都の事業との連携拡大	・親子で野菜づくりにチャレンジの実施	行政	○	A	改善・見直し	・実施エリアの拡充 ・市民ニーズの把握及び企画の見直し	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大 ・農業者及び商工業者への事業周知拡大	・農業普及啓発プロジェクトの活用	行政	○	A	拡充	・市外へのさらなる情報発信 ・シティセールスの視点における事業拡大	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大 ・農業者及び商工業者への事業周知拡大	・めぐみちゃんマーケットの開催	行政	○	A	拡充	・実施エリアの拡充 ・農業者との連携拡大による自立化	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	市民農園、農業体験農園ともに利用者のニーズ及び満足度は高い。運営側の負担を軽減するための適切な支援策を講じる。	・市民の農業、農地への関心の高まり ・消費者の購入方法が多様化している一方で、地産地消の促進が求められている	・若手及び女性農業者との意見交換 ・新たな取組みによる事業企画 ・国及び都の事業との連携拡大	・緑のアカデミー事業の実施	行政・JA・農業者	○	A	継続実施	・新たな実施場所の検討 ・参加ターゲットの見直し	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大 ・農業者及び商工業者への事業周知拡大	・農とのふれあい散歩道づくり	行政	○	A	改善・見直し	・新たな連携内容の見直し ・活用方法の検討	
ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	市民農園、農業体験農園ともに利用者のニーズ及び満足度は高い。運営側の負担を軽減するための適切な支援策を講じる。	・市民の農業、農地への関心の高まり ・消費者の購入方法が多様化している一方で、地産地消の促進が求められている	・若手及び女性農業者との意見交換 ・新たな取組みによる事業企画 ・国及び都の事業との連携拡大	・ファームカーを活用した即売会(マルシェ)の検討	行政・JA・農業者	○	A	拡充	・実施エリアの拡充 ・農業者の連携の拡大				
2 ものづくり	1 営業力が高まり、活躍し続けられる	(1) 独自技術を活かした営業展開の強化	ほぼ達成	以前と同程度	現状維持	現状維持	マッチングによる事業継続に対するニーズは増加している。多様なニーズに対応できるよう、実施主体の拡大など、新たな施策展開を検討していく。	・人件費単価の上昇及び人材確保 ・設備投資の費用負担増 ・経営力強化に向けた、金融機関及び大学等との連携が求められている	・事業参加を促すための情報発信の向上 ・市外企業等とのマッチングコーディネート支援	・マッチング・コーディネート推進	商工会	○	B	拡充	・産業ニュースの効果的な利用 ・サポート体制の見える化の拡充	
			ほぼ達成	以前と同程度	現状維持	現状維持	創業カフェなどにより事業者同士の交流が進んでいる。現状の予算を活用し、より効果を上げる取組みを推進する。	・まちひとしごと創生総合戦略及び産業競争力強化法の制定 ・創業ニーズの高まりによるビジネスマッチング支援への期待	・既存事業者と創業者との交流促進及びビジネスマッチング支援 ・マッチング結果の追跡とフォロー体制の確立	・経営(営業)力の強化に向けた各種セミナーの実施	② 商工会	○	B	継続実施	・セミナーの周知及び集客方法の改善 ・地域課題の解決を目指した人材育成	
			ほぼ達成	強まっている	拡充	重点的に投入	融資申し込み件数は横ばいだが、人材確保や設備投資に係る融資制度のニーズが高まっているため、新たな融資制度の構築を図る。	・生産性向上特別措置法の制定 ・都による融資あっせん制度との連携	・借り入れ上限額及び償還期間の検証 ・人材確保、設備投資に係る融資制度の見直し	・市内事業者の展示会等への支援に関する調査・研究	行政	○	C	改善・見直し	・出展者への事業周知 ・費用対効果の検証	
			ほぼ達成	強まっている	拡充	重点的に投入	融資申し込み件数は横ばいだが、人材確保や設備投資に係る融資制度のニーズが高まっているため、新たな融資制度の構築を図る。	・生産性向上特別措置法の制定 ・都による融資あっせん制度との連携	・借り入れ上限額及び償還期間の検証 ・人材確保、設備投資に係る融資制度の見直し	・産業ニュース等の発行	③ 行政	○	A	改善・見直し	・費用対効果の検証 ・ニュース発行が可能な市内事業者の育成	
	2 新規事業展開・新分野開拓が進む	(2) ソフトなもののづくり産業の展開	ほぼ達成	弱まっている	絞り込み	効率化による削減	関係機関との協議は必要であるが、計画への位置づけ、事業の実施形態等を見直す必要がある。	・まちひとしごと創生総合戦略及び地域みらい投資促進法の制定 ・観光やシティプロモーションの担当組織の検討	・行政と大手事業者との連携強化 ・具体的取組に対する成果が不明瞭	・同業種・異業種交流会の実施	商工会	○	B	継続実施	・情報収集及び事業周知 ・産業ニュースの効果的な活用	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大	・産学公連携事業の検討	行政・商工会・民間事業者	○	A	改善・見直し	・費用対効果の検証 ・ニュース発行が可能な市内事業者の育成	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大	・融資あっせん制度の実施	行政	○	A	継続実施	・事業者のニーズに合った新たな融資制度の構築	
			ほぼ達成	弱まっている	絞り込み	効率化による削減	関係機関との協議は必要であるが、計画への位置づけ、事業の実施形態等を見直す必要がある。	・まちひとしごと創生総合戦略及び地域みらい投資促進法の制定 ・観光やシティプロモーションの担当組織の検討	・行政と大手事業者との連携強化 ・具体的取組に対する成果が不明瞭	・産学公連携事業の検討	行政・商工会・民間事業者	○	A	継続実施	・関係機関の選定が課題	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大	・活・西東京プロジェクトの推進	行政・商工会・民間事業者	×	B	抜本的見直し	・事業選定が難しく、平成29年度から未実施 ・事業効果の検証が必要	
			ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大	・産学公連携事業の検討	行政・商工会・民間事業者	△	C	抜本的見直し	・大学機関との連携による事業実績なし	
2 新規事業展開・新分野開拓が進む	(3) 地元農産物の積極的な利用	ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大	・(仮称) SOHO施設整備促進の支援	④ 行政	○	A	改善・見直し	・創業サポート施設開設後の運営や連携についての検証が必要		
		ほぼ達成	強まっている	現状維持	現状維持	めぐみちゃんメニューの推進により、地産地消の推進や販路拡大につながった。食の安心・安全に係る、生産者と消費者をつなぐ取組みであり、引き続き取り組む。	・マルシェ等への来店者数の増加 ・農産物キャラクター「めぐみちゃん」の活用拡大	・めぐみちゃんメニューの市内外消費者への周知拡大	・めぐみちゃんメニューの推進	① 行政・農業者・商工業者	○	A	継続実施	・農商工業者の拡大及び情報発信 ・市内産農産物及び加工品の販路拡大		

分野	大項目	中項目 (施策)	施策の総合評価				施策を取り巻く状況		事業(実行プログラム)			事業(実行プログラム)の点検				
			達成度	重要度	今後の方向性		判断理由	社会情勢や市民・当事者からの 要望等の変化	施策を進める上で 残されている課題	事業名	再掲	事業主体	着手 状況	事業 評価	今後の展開	実施上の課題や今後改善すべき点
					内容	コスト										
	3 事業者 (企業)が 次々と生ま れる	(1) 起業家支援の 推進	ほぼ達成	強まっ ている	拡充	現状維持	創業に関する問い合わせが多い状 況が続いている。創業支援事業は 拡充しつつあり、今後はコストを かけない取組みを検討していく。	・女性の働き方サポートとして 「ハンサム・ママプロジェクト」 を開始 ・創業サポート施設を開設 ・創業ポータルサイトを開設	・創業者同士のネットワーク構築 に向けた事業の検討 ・チャレンジショップ事業の基準 の見直し(H30より見直し)	・創業に関する相談・助言の実施 ⑤ 商工会	○	A	継続実施	・支援者側の情報共有(補助金情報など)		
		(2) ものづくり事 業所(企業)の誘致	ほぼ達成	強まっ ている	拡充	重点的に 投入	創業融資あっせん制度に新メ ニューを追加したが、引き続き、 既存中小企業に対する、新たな融 資制度の構築を図る。	・都による融資あっせん制度との 連携	・人材確保、設備投資に係る融資 制度の見直し	・(仮称)SOHO施設整備促進の支 援 ④ 行政	○	A	改善・見直 し	・創業サポート施設開設後の運営や連携につい ての検証が必要		
3 商業・ サービス	1 地元の購 買力を着実 に取り込む	(1) 地元ならではの 魅力の向上	ほぼ達成	強まっ ている	現状維持	現状維持	一店逸品事業は、ブランド確立に 大きな役割を果たしている。今後は 対象業種の拡大、認知度の向上 に努める。	・地域の中で消費が完結する生活 モデルを推奨する動き(ひばりが 丘団地エリア)	・一店逸品事業による売上への効 果が測定できない ・飲食からものづくりまで幅広い 業種を対象とした逸品イベントの 検討	・商業便利度向上事業の実施と結果の 活用 商工会	○	B	改善・見直 し	・事業の継続性についての検討が必要		
		(2) 購入方法の多 様化への対応	達せず	以前と同 程度	絞り込み	効率化に よる削減	高齢化の進展に伴い、買物及び移 動困難者の増加が予測される。移 動支援について行政の費用負担を 踏まえ、引き続き検討する。	・少子高齢化に伴う買物支援対策 及び移動困難者対策の検討	・行政の費用負担及び費用対効果 の検証が必要	・買物支援の調査・研究 ⑧ 行政	△	C	改善・見直 し	・移動販売の検討から、消費者が移動するための 手段の検討へと移行		
		(1) 個店の経営力 の向上	ほぼ達成	以前と同 程度	現状維持	現状維持	個店経営力強化は商店街活性化に 不可欠であり、継続する。	・社会経済動向に応じたセミナー の実施が求められている	・セミナーへの参加を促すための 情報発信の向上	・経営(営業)力の強化に向けた各種 セミナーの実施 ② 商工会	○	B	継続実施	・セミナーの周知及び集客方法の改善 ・地域課題の解決を目指した人材育成		
	2 商業・ サービスの 担い手が 育つ	(2) 新たな担い 手・人材の育成	大きく上 回る	強まっ ている	拡充	重点的に 投入	創業スクールや女性の働き方サ ポート支援事業による創業機運が 高まっている。創業支援の流れを 止めず、創業後の支援メニューの 拡充に取り組む。	・創業サポート施設を開設 ・国や都の創業補助金を活用した 創業支援施策を充実 ・創業支援に対する満足度は高い ・販路開拓や商品開発に係る支援 が求められている	・創業後の経営フォロー及び事業 承継等の支援メニューの検討	・人材育成に向けた各種セミナーの実 施 ⑨ 商工会	○	A	継続実施	・商店街の若手人材の育成が必要		
		(1) 個店の経営力 の向上	ほぼ達成	以前と同 程度	現状維持	現状維持	個店経営力強化は商店街活性化に 不可欠であり、継続する。	・社会経済動向に応じたセミナー の実施が求められている	・セミナーへの参加を促すための 情報発信の向上	・創業に関する相談・助言の実施 ⑤ 商工会	○	A	継続実施	・支援者側の情報共有(補助金情報など)		
		(2) 新たな担い 手・人材の育成	大きく上 回る	強まっ ている	拡充	重点的に 投入	創業スクールや女性の働き方サ ポート支援事業による創業機運が 高まっている。創業支援の流れを 止めず、創業後の支援メニューの 拡充に取り組む。	・創業サポート施設を開設 ・国や都の創業補助金を活用した 創業支援施策を充実 ・創業支援に対する満足度は高い ・販路開拓や商品開発に係る支援 が求められている	・創業後の経営フォロー及び事業 承継等の支援メニューの検討	・創業資金融資あっせん制度の実施 ⑥ 行政	○	B	継続実施	・融資申し込み件数の推移		
3 地域資 源がめぐ り、地域を 活発にする	(1) 地域内の連 携・循環の仕組 みづくり	ほぼ達成	強まっ ている	現状維持	効率化に よる削減	多摩北部広域行政圏における観光 振興の機運が高まっている。引き 続き、行政側のコストがかからな い事業構築を目指す。	・まちひとしごと創生総合戦略及 び観光立国推進計画の制定 ・まち歩きへのニーズの高まり ・市外からの参加比率が高い	・インバウンド対策についての検 討 ・費用対効果の検証	・めぐみちゃんメニューの推進 ① 行政・農業者・商 工業者	○	A	継続実施	・農商工業者の拡大及び情報発信 ・市内産農産物及び加工品の販路拡大			
	(2) 観光に関する 近隣市との調 査・研究	ほぼ達成	強まっ ている	現状維持	効率化に よる削減	多摩北部広域行政圏における観光 振興の機運が高まっている。引き 続き、行政側のコストがかからな い事業構築を目指す。	・まちひとしごと創生総合戦略及 び観光立国推進計画の制定 ・まち歩きへのニーズの高まり ・市外からの参加比率が高い	・インバウンド対策についての検 討 ・費用対効果の検証	・観光に関する近隣市との調査・研究 行政	○	A	改善・見直 し	・各市の費用及び事務負担 ・広域での事業実施における周知方法			
4 商店街	1 5駅の特 色を活か し、相当規 模の魅力あ る商店街づ くり	(1) 地域の特色を 活かした、西東京市 の顔となる商店街づ くり	ほぼ達成	強まっ ている	拡充	現状維持	防犯・防災、高齢者や子どもの見 守りの核として、商店会の役割は 重要度を増しており、地域市民団 体との関係強化に取組む。	・国による、新たな商店街政策の 在り方検討会による取組み ・都の地域連携型支援事業補助金 の創設(H29~)	・新規で取組む商店会の発掘 ・地域市民団体等との連携拡充 ・商店会の担い手の育成支援	・地域連携型イベントの実施 ⑩ 商店会・民間団 体・市民	○	A	継続実施	・新規で取組む商店会の発掘		
		(2) 戦略的な空き 店舗の活用	達せず	強まっ ている	拡充	重点的に 投入	空き店舗対策の必要性は高まっ ているが、現状では進んでいない。 行政の財政措置を含めて、新たな 対策を講じていく。	・国による、新たな商店街政策の 在り方検討会による取組み ・都の空き店舗活用事業補助金及 び創業者への整備費用補助等の取 組み推進	・空き店舗対策を専門とする組織 の検討 ・有効な空き店舗情報の収集 ・空き店舗オーナーへの資産活用 に対する理解促進	・空き店舗情報のマッチング ⑪ 商工会	○	B	改善・見直 し	・空き店舗情報の収集と更新 ・オーナー側の活用に対する理解促進		
		(3) 一部買い回り 品を含む商店街の活 性化	達せず	以前と同 程度	絞り込み	効率化に よる削減	高齢化の進展に伴い、買物及び移 動困難者の増加が予測される。移 動支援について行政の費用負担を 踏まえ、引き続き検討する。	・少子高齢化に伴う買物支援対策 及び移動困難者対策の検討	・行政の費用負担及び費用対効果 の検証が必要	・買物支援の調査・研究 ⑧ 行政	△	C	改善・見直 し	・移動販売の検討から、消費者が移動するための 手段の検討へと移行		
		(4) 地域のひとと を活かした商店街づ くり	ほぼ達成	強まっ ている	拡充	現状維持	防犯・防災、高齢者や子どもの見 守りの核として、商店会の役割は 重要度を増しており、地域市民団 体との関係強化に取組む。	・国による、新たな商店街政策の 在り方検討会による取組み ・都の地域連携型支援事業補助金 の創設(H29~)	・新規で取組む商店会の発掘 ・地域市民団体等との連携拡充 ・商店会の担い手の育成支援	・地域連携型イベントの実施 ⑩ 商店会・民間団 体・市民	○	A	継続実施	・新規で取組む商店会の発掘		
	(1) 魅力ある店舗 構成・コミュニティ 機能を持つ商店街づ くり	達せず	以前と同 程度	絞り込み	効率化に よる削減	商店会に生鮮4品の専門店が少な い現状が把握できたが、利益率の 低さや大手スーパーとの競合によ り新規出店が難しい。市民ニーズ が高いため、民間活用などを含め て推進していく。	・国による、新たな商店街政策の 在り方検討会による取組み ・都の空き店舗活用事業補助金及 び創業者への整備費用補助等の取 組み推進 ・地元産農産物や被災地商品の人 気が高い	・具体的な支援メニューの検討 ・継続的な被災地との連携	・生鮮4品の整備支援についての調 査・研究 行政・商店会・商 工会	○	C	改善・見直 し	・大手スーパーとの競合 ・利益率の課題解決に向けた支援内容の検討			
		(2) まちおこしの ための商店街と地域 住民の交流促進	ほぼ達成	強まっ ている	拡充	現状維持	防犯・防災、高齢者や子どもの見 守りの核として、商店会の役割は 重要度を増しており、地域市民団 体との関係強化に取組む。	・国による、新たな商店街政策の 在り方検討会による取組み ・都の地域連携型支援事業補助金 の創設(H29~)	・新規で取組む商店会の発掘 ・地域市民団体等との連携拡充 ・商店会の担い手の育成支援	・地域連携型イベントの実施 ⑩ 商店会・民間団 体・市民	○	A	継続実施	・新規で取組む商店会の発掘		

分野	大項目	中項目 (施策)	施策の総合評価				施策を取り巻く状況		事業(実行プログラム)			事業(実行プログラム)の点検				
			達成度	重要度	今後の方向性		判断理由	社会情勢や市民・当事者からの 要望等の変化	施策を進める上で 残されている課題	事業名	再掲	事業主体	着手 状況	事業 評価	今後の展開	実施上の課題や今後改善すべき点
					内容	コスト										
3	商店街 が活発に活 動する	(1) 商店街組織の 強化	ほぼ達成	強まっ ている	拡充	現状維持	商店会の組織率の低下や人材不足が課題であり、若手の担い手の育成は重要度を増している。国や都の支援メニューの活用を促進しながら取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 国による若手リーダー塾、商人大学校の取組み 都による専門家派遣支援メニューの取組み 補助金手続きの煩雑さに対する要望がある 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信や空き店舗対策に対する具体的な支援メニューの構築 担い手の育成支援の強化 商店会の向かうべき方向性の見極め 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街組織の強化に向けた支援 人材育成に向けた各種セミナーの実施 商店会連絡会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会 ⑨ 商工会 行政・商工会 	○	A	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化による組織率の低下 商店街の若手人材の育成が必要 参加商店会の減少により情報提供が徹底できない 	
		(2) 意欲に応じた 支援の強化	ほぼ達成	強まっ ている	拡充	現状維持	イベント等の開催による地域おこしの効果は高いため、国や都の支援メニューの活用を促進しながら取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 都の商店街チャレンジ戦略支援事業 地域の核として、商店会の役割の重要性が高まっている 	<ul style="list-style-type: none"> イベント未実施商店会のフォロー 担い手の育成 継続的な被災地との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 企画提案型イベントの実施 被災地支援物産展の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 商店会 ⑩ 商工会・商店会 	○	A	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 組織率低下や担い手不足 広域型イベントの減少 	
		(3) 安心して買物 ができる商店街つ くり	ほぼ達成	弱まっ ている	絞り込み	効率化による削減	商店会街路灯のLED化は達成したため、今後は要望のあるランプ交換の支援メニューを検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ランプ交換費用に対する補助メニューに対する要望がある 都及び市ともにランプ交換のみの支援メニューは実施していない 	<ul style="list-style-type: none"> ランプ交換時期の対応 	<ul style="list-style-type: none"> 街路灯のLED化に向けた支援の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 行政 	○	A	廃止	<ul style="list-style-type: none"> 商店会が所有する街路灯は概ねLED化が完了 	

西東京市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略 産業振興課関連事業

基本目標	施策	施策の総合評価				施策を取り巻く状況		事業(実行プログラム)			事業(実行プログラム)の点検					
		達成度	重要度	今後の方向性		判断理由	社会情勢や市民・当事者からの 要望等の変化	施策を進める上で 残されている課題	事業名	新規	事業主体	着手 状況	事業 評価	今後の展開	実施上の課題や今後改善すべき点	
				内容	コスト											
2	地域に根差した産業が育ち、まちの活力を伸ばす	2-1 「やる気・勇気」魅力ある新産業の振興	大きく上 回る	強まっ ている	拡充	現状維持	創業に関する問い合わせが多い状況であり、国の政策との方向性も合致している。今後は、事業内容を検証しつつ、特定財源などの活用により、財政負担が増加しないように努める。	<ul style="list-style-type: none"> 職住近接による働き方のモデル 創業サポート施設を開設 創業ポータルサイトを開設 国による若手、女性リーダー応援プログラム等の支援メニューの創設 	<ul style="list-style-type: none"> コスト削減及び事業の方向性の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の働き方サポート推進事業 創業のための新たな拠点についての調査・研究 チャレンジショップ事業の実施 	○	行政	○	A	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取組方針及び財政負担 市内出店へのアプローチ 創業サポート施設の自立化
										<ul style="list-style-type: none"> 一店逸品事業の推進 直売所の魅力充実の検討 市民農園の新しい展開、農業体験農園の推進 「めぐみちゃん」メニューの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会 行政 行政・農業者・商工業者 	○	A	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 事業採択者の選定過程の明確化 認定商品の認知度の不足 事業者の事業認知不足 財政負担の検証 農業者への事業周知 市民農園負担金の見直し 農業体験農園の開設支援の検討 農商工業者の拡大及び情報発信 費用対効果の検証 	
		2-2 「やる気・元気」地域に根差した産業の振興	ほぼ達成	強まっ ている	現状維持	現状維持	ブランド化の取組は重要であり、シティプロモーションに効果がある。今後は、事業内容を検証し、新たな取組を推進する。また、特定財源などの活用により、財政負担が増加しないように努める。	<ul style="list-style-type: none"> 事業者への事業認知不足 市民の農業、農地への関心の高まり 市民農園の開設・運営に係る民間事業者参入の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> コスト削減及び事業の方向性の検証 事業効果(事業による売上への効果など)が測定できない 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の働き方サポート推進事業 創業のための新たな拠点についての調査・研究 チャレンジショップ事業の実施 	○	行政	○	A	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 今後の取組方針及び財政負担 市内出店へのアプローチ 創業サポート施設の自立化
										<ul style="list-style-type: none"> 一店逸品事業の推進 直売所の魅力充実の検討 市民農園の新しい展開、農業体験農園の推進 「めぐみちゃん」メニューの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 商工会 行政 行政・農業者・商工業者 	○	A	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 事業採択者の選定過程の明確化 認定商品の認知度の不足 事業者の事業認知不足 財政負担の検証 農業者への事業周知 市民農園負担金の見直し 農業体験農園の開設支援の検討 農商工業者の拡大及び情報発信 費用対効果の検証 	
3	まちを楽しみ、まちの良さを高める	3-1 いいね!と評価できる魅力づくりと情報発信	大きく上 回る	強まっ ている	拡充	効率化による削減	観光振興による地域経済の活性化が期待されている。今後は、事業実施主体を見直しつつ、広域的な連携による事業展開、財政負担の効率化などを図りながら取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 民間の活力による観光の取組みの推進 国による観光立国の推進 参加者による事業継続の希望が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 広域的な観光の推進 民間機関が主体となった観光振興の検討 	<ul style="list-style-type: none"> まち歩き観光の推進 	○	行政	○	A	改善・見直し	<ul style="list-style-type: none"> 事業主体の民間機関への移行 広域的な事業展開